

司会 ①小田茂兄 ②波木井兄 ③高木美兄

奏楽
祈禱 ①倉知兄 ②衛藤兄

十戒
賛美 聖歌229番 (645番)
(イエスは主)

聖書 ① ルカによる福音書10章38～42節
②③ ヨハネによる福音書14章27～31節

音楽 ① ストリーム
②③ ピンチェ(女声合唱団)

証詞 ① 森岡純子姉

メッセージ ① 「取り去ってはならないもの」 坪井永城副牧師
②③ 「死の壁を超えるもの」 大川従道牧師

賛美 聖歌687番(献金)
頌栄 「神ともにいまして」・シャローム・アーメン
祝禱

「あなたは神と和らいで、平安を得るがよい。
そうすれば幸福があなたに來るでしょう。」
(ヨブ二十二の二十二)

石の枕

「燕去り月」とは、陰暦八月の異称。カラスにやられないように注意し、夜も安眠のために外灯も遠慮がちであったのに、親ツバメも五羽の子ツバメも、御礼もいわず、ウンともフンともいわず(巢の下はウンとフンでいっぱい)飛び立った。かっこうはモーニング姿でスマートだが、これでは評判が悪くなる。学校はすすめだけでなく、つばめも必要だ。以上牧師のつぶやき。しかし、「五羽のすすめは2アサリオン」(ルカ12の5)を瞑想し、多くの恵みを得たので、許してやることにした。来年も戻って来いよ!?

泉チャペルの周辺は美しい花でいっぱい。よくこの暑いのに熱中症にならず元気に過ごせるもんだ。夕方になると、秘かに水を注ぐ主のしもべたちがいる。この方々の存在なしには、真夏の花なんか、ありえない。「置かれた場所で咲きなさい」(渡辺和子著・幻冬舎)。人はどんな境遇でも輝ける。どうしても咲けない時は、下へ下へと根をのばす。つらい日々も笑える日につながっているのです。キリスト教界の本が、社会の話題になることは超うれしいこと。

「私は植え、アポロは水をそそいだ。しかし成長させて下さるのは 神である」(第一コリント3の6)

コンサイスバイブルを2回読みました。集中して読めば、一日で読めそうだと思いますが、6才の子を持ち、学校に通う主婦として、無理なく読んだつもりです。この教会に通い、養われていることは、私たちにとって大きな恵みです。何があっても流れのほりから移りたくないと思う日々です。コンサイスをいただいた事も感謝しています。持ち歩いたせいで、だいぶくたびれてしまいましたが、大川先生のサインをぜひ、お願いいたします。

* 佐伯陸三さんは、大学病院に献体しておられるので、いつものような形での葬儀はできませんでしたが、病院の個室でご家族と親しい者たちで最高にすばらしい告別式をすでに致しました。今日は第3礼拝直後、6百人余の方々賛美をもってお別れです。「我らの国籍は天に在り」ですから、少々淋しいですが、必ず天国での再会を誓って祈りましょう。佐伯さん！本当にありがとう!!

【大和ニュース】

- ・ 本日は、「女声合唱団・ピンチェ」をお迎えできて感謝です。祝福を祈ります。
- ・ 本日、「洗礼準備会」、手話会、アブラハム会、モーセ会、役員会、J.Plusあり。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は倉知契副牧師。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は丸藤剛介補教師。
- ・ NEW 週末礼拝は、土曜夕方6時～7時。説教は倉知契副牧師。
- * ジーザスフェスティバル9月17日(月・祝)、チケット(無料)の申込みロビーにて。
講師は、チョウヨンギ先生・大川牧師。大和カルバリー総出演の聖歌隊にも、お入りください!!
- * 本日、第3礼拝後、故佐伯陸三兄の「告別式」を持ちます。ご遺族の方々に、主の慰めと平安を心から祈りましょう。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:使徒行伝23章～27章 Bコース:詩篇36篇～55篇